よろこび

日蓮宗 講聖会

本山 妙顕寺
長谷山 本覚寺

『よろこび』五十五（幸福とは何かの再考）

貫首　齊藤　日軌

幸福は、誰もがみんな求めている。みんな幸せになりたいのである。今年もサーマジャンボ宝くじが発売された。「当たれば五億円。五億円当たったら、マンション買って、ベンツ買って、嫁さんもらいたい。」それが実現したら幸福になれる。

実際実現して幸せになった人がいるかというと、そうはいかないことが多い。それは五億円で幸せは、買えないからである。家も、車も、嫁さんもみんな幸福の条件の一つ、幸福の材料の一つであって、幸福そのものではないからである。

幸福とは、幸せだとしみじみ思うこと、その幸せを心から味わえること。自分は幸せな人間だと心から思えること。

「ボクはしあわせだな」といえること。

これはお金や、財産ではなく今与えられた物や財産、家族、友人に心からありがたいと感謝することであり、そんな自分に感謝できることが幸福なのである。

みおしえ

「心は、動揺し、ざわめき、護り難く、制し難い。英知ある人はこれを直なおくする。弓師が矢の弦を直くするように。（中村元訳）（法句経三十三中村元訳）」

心はころころと転じ、猿のように落ち着きがない。とらえがたく制御することは大変むずかしい。心は、動揺し、ざわめき、護り難く、制し難い。その原因はむさぼり、怒り、害意などにとらわれるからです。心をコントロールしたい。怒ったり、悲観したり、大変難しい。だいたい失敗に終わる。

こころが、操縦不能になるのは感情の振幅をコントロール出来ず、感情に負けてしまうからです。

心を軽くまろやかにしたままコントロールするには、智恵を用い、むさぼり、怒り、害意などを捨て心を直くし慈愛を以て全てに接することが大切です。丸く豊かな心をはぐくみ良き感情を育てましょう。南無妙法蓮華経と唱えむさぼり、怒り、害意などを捨て慈愛に満ちた自在な心に成ろう。

心の言葉

南無妙法蓮華経と唱えむさぼり、怒り、害意などを捨て慈愛に満ちた自在な心に成ろう。